

ICT活用による義務教育9年間の子どもサポートシステム

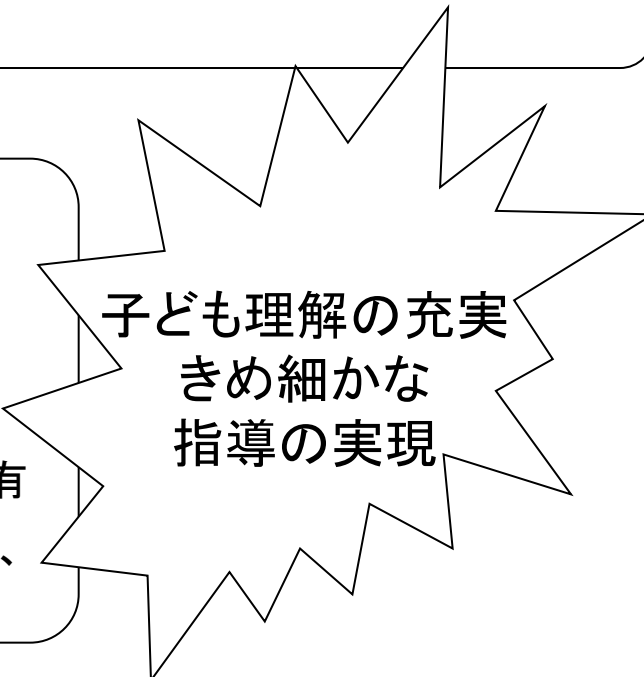
機器借上料（5年リース現年6ヶ月分） 22,590千円（5年間で225,900千円）
 設定委託料 4,200千円

◆目的

ICTを用いて、子ども一人ひとりの生活・学習状況をよりの確に把握することで、子ども理解を一層深め、きめ細かな指導を実現します。義務教育9年間の学びの過程を一元化し、子ども・保護者に還元します。

◆期待される効果

- ・子ども一人ひとりの生活面・学習面の実態を的確に把握
- ・教職員の子ども理解(子どもの現状と課題)を共有化
- ・子ども一人ひとりに対してきめ細かな指導支援の実現
- ・蓄積した学校生活の記録を、懇談や家庭訪問などで保護者と共有
- ・義務教育9年間の子どもの育ち(生活面・学習面)を記録・蓄積・共有
- ・出欠管理・通知表・指導要録等の電子化により、事務処理を軽減し、子どもと向き合う時間や教材研究の時間を創出



◆子ども理解の深化のプロセス

